

佐井寺留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和５年度）

Ⅰ 育成室の概要

（１）児童数・教室数（令和６年３月１日時点）

児童数１１３人（うち配慮を要する児童３人）						教室数
内訳	１年	２年	３年	４年	５・６年	３教室
	３９人	２９人	２９人	１６人	０人	

（２）受託事業者

株式会社セリオ（契約期間：令和３年４月～令和８年３月）

他に受託している育成室（東佐井寺育成室、山手育成室）

２ 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (０～３)
１	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	３
２	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	３
３	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	３
４	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	３
５	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	３
６	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	３
７	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	３
８	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	２

３ 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートでは、ほぼ全ての項目で肯定的な回答が９０％を超えている。特に「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」「保護者との連携、保護者への情報提供の頻度・内容について（連絡帳、おたより、学級懇談会など）」の設問では、全ての回答が「そう思う・少しそう思う」となっている。
- ③児童への毎日の言葉かけや、一緒に遊ぶ中でのコミュニケーションが、児童との信頼関係構築に繋がっている。また、トラブルや気になることがあった際は、お迎え時や電話等でその日のうちに保護者に連絡をとるなど細かな保護者連携を行っている。その結果、保護者アンケートの「保護者との連携、保護者への情報提供の頻度・内容について（連絡帳、おたより、学級懇談会など）」の設問では、３年連続で全ての回答が「そう思う・少しそう思う」となっている。
- ④実施状況報告書の研修受講状況から、事業者独自の研修には取り組んでいるが、市主催研修へも積極的に参加し、職員全体の更なる資質向上に努められたい。